



名誉学生表彰を受ける神奈川の家田さん

## 目次

大学での学びについて.....	2
グローバル時代の経済政策：イノベーションと社会福祉の好循環をめざして.....	3
客員教授の異動について.....	5
令和5年度横浜市大岡地区センターとの連携講演会の紹介.....	5
2023年度の学生生活に関するアンケート.....	6
令和6年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧.....	8
地域連携ウォーキング.....	9
K-サポートからのお知らせ.....	9
学生サークルからのお知らせ.....	10
神奈川学習センターからのお知らせ.....	12

## 大学での学びについて



放送大学神奈川学習センター所長  
大谷英雄

今年の冬は夏日になりそうな日があったかと思うと次の日には真冬並みの気温に戻るといような不純な天候でしたが、春というと何となく心が浮き立つのを感じます。温暖化の影響か年々桜の開花の時期が早くなって入学よりも卒業の時期に桜が満開を迎えるようになっていますが、弘明寺付近の大岡川は桜の名所ですので、時期が合いましたら学習センターに来られる時に花見を楽しんでみてください。

さて近年、情報通信技術(ICT)の進展には目覚ましいものがありますが、令和に入ってからさらに社会への導入スピードが加速しているように感じます。令和元年の政府の AI 戦略 2019 には“文理を問わず、全ての大学・高専生が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AI を修得”と謳われており、放送大学にも取り入れられています。その前提としては、平成 29 年に小中学校、平成 30 年には高校の学習指導要領が改定されており、情報活用能力が言語能力と同様の学習の基礎となる資質・能力に位置付けられております。これに伴い小中学生全員にタブレットが支給されるようになりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大という状況も相まって急速に普及が進みました。

このようにすでに高校までの ICT 教育は実施済みであり、大学生であれば相応の ICT 能力があるものと期待される時代になっています。ご存じのように放送大学でも単位認定試験は Web で受験することとなっていますし、通信指導も 2024 年度第 2 学期からは原則として Web での提出となります。学内の種々の情報もシステム WAKABA にアクセスして取

得するようになっていきます。放送授業もインターネット配信されています。

インターネットを上手く使えば世界中の情報を簡単に手に入れることができるようになりました。高校までと大学での勉学の大きな違いは、高校までは教えられた知識を正確に身につけることが大事ですが、大学では教わるのではなく自分で知りたいことあるいは分からないこと(自分は何が分からないかを正しく表現できるようになることが実は難しく、かつ大切なことです)を探して分かるようにできることが大事です。誰かに教えられたことが正しいかどうかを見極められるようになることも大切だと思います。

高校までの教育では、例えば鎌倉幕府の成立は源頼朝が征夷大將軍に任命された 1192 年と覚えている人が多いと思いますが、侍所を設置した 1180 年、右近衛大將(征夷大將軍より上の官職)に任命された 1190 年など 6 つの説があり、最近では平家が滅亡し、守護・地頭の任命権が与えられた 1185 年が有力のようです。これは新たな事実が知られるようになったわけではなく、歴史認識が変わってきたということになります。単に年号を覚えるだけではなく、時代背景を理解することが大事であることが分かります。

インターネット上にはフェイクニュース(虚偽の情報)が溢れているのも周知の事実です。自分が手に入れた情報が正しいかどうか、すぐに鵜呑みにするのではなく他の情報も探して判断できる力(情報リテラシー)を磨いていきましょう。

# グローバル時代の経済政策： イノベーションと社会福祉の好循環をめざして

放送大学神奈川学習センター客員教授

植村博恭



## 1. 放送大学のゼミナールで学んできたこと

私たちのゼミナールは、「グローバル時代の社会と経済政策」をテーマとして勉強を進めてきました。日本における社会保障制度、特に、医療保険、年金、介護保険、生活保護といった具体的な制度とそれらの現状を学んできました。さらに、社会福祉や福祉国家の理論を、グローバル時代の日本の社会と経済に即して勉強し、ベーシック・インカム、ベーシック・サービスなど社会保障政策の具体的内容と有効性も検討してきました。

また、社会保障に関わる幅広い経済政策や社会政策の領域として、雇用システムや金融システム、租税制度、さらにはインフレーションについても学んできました。このような研究を通して、私たち独自の「新しい日本資本主義」の具体像を探求してきたのです。

## 2. グローバリゼーションとはどんな構造変動か

ゼミナールのテーマは、「グローバル時代」という時代認識から出発しています。20 世紀後半以降、変動為替相場制のもとで金融のグローバリゼーションが急速に進み、それはリーマン・ショックのような世界的な金融危機をもたらしました。それと並んで、多国籍企業の活動のもとで生産のグローバリゼーションも急速に拡大し、いわゆる「グローバル・サプライチェーン」が大きく発展しています。もちろん、このようなグローバリゼーションは、均質的に進

化しているわけではなく、EU や東アジアにみられるように、様々な地域経済統合の動きもあります。しかし、それらはグローバル危機の防波堤として有効に機能しているとは言えません。

グローバル経済は、リーマン・ショックのような金融危機だけでなく、コロナ・パンデミックやそれに伴う世界的インフレーションなどもたらしたのです。世界経済にとって内生的要因や外生的要因によってもたらされる様々な危機は、グローバル時代には急速かつ広範囲に波及するのです。そのような世界のなかで、いかにして私たちの生活と生命を守っていくのか、これこそが現代の社会保障の課題です。

## 3. グローバル時代の日本の社会保障

20 世紀後半以降、先進諸国は様々なかたちで福祉国家を実現してきました。もちろん、有名なエスピン・アンデルセンの福祉国家の類型、すなわち市場主義型、社会民主主義型、保守主義型という類型の存在が指摘されていますが、日本の場合、たんなる保守主義と市場主義の混合型というよりも、国際展開する大企業の正規労働者中心の独特の企業主義的福祉を持っていることが重要です。しかも、これは女性の非正規労働者を巧みに利用しつつ成り立っているのです。私たちのゼミでも、日本では高齢者女性の多くは、国民年金受給者や第三号被保険者（受給額約 6 万 5 千円）であることを知っています。しかも、厚生年金受給者の高齢者女性でも、年金額の平均は男性の 3 分の 2 で、そ



の水準は生活保護受給額とほぼ同水準の約 12 万円なのです。

介護保険制度は、1980 年代の家族頼みの「日本型福祉社会構想」が行詰ったあと導入された画期的な制度でした。しかし、それはケアマネージャーによる「居宅サービスプラン（ケア・プラン）」の作成に大きく依存する制度で、ヘルパーさんの人手不足も深刻化しています。また、ケア・プランに対する財政的締めつけも年々厳しくなっています。

日本の社会保障制度は、いまグローバル時代の真ただ中で、困難に直面しています。企業中心の福祉制度のもと、国際競争の激化のなかで日本企業は賃金コストを中心に大幅なコストカットを行っています。少子高齢化のなかで、年金財政の運営がきわめて困難なものとなっています。そして、政府債務はなんと対 GDP 比 260%を超えてしまいました。

#### 4. 「成長と分配の好循環」から「イノベーションと社会福祉の好循環」へ

日本では、2 年以上前にさかんに「成長と分配の好循環」ということが言われました。それは、賃金を上げることによって労働者の所得を増加させ、消費需要を増大させることで経済成長を促進する政策です。この魅力的な政策は、実は、かつてジョン・ロビンソンやカルドアなどのイギリス労働党系のケインジアンによって積極的に主張された成長戦略でした。しかし、この戦略は 1960 年代、各国経済の対外依存度が低かった時代には有効だったとしても、1980 年代以降の経済のグローバル化のなかでは、賃金の輸出財コストとしての役割が増し、大きな困難に直面しています。もちろん、これでは賃金の「足の引張り合い (race to the bottom)」になりかねません。実際、日本では「成長と分配の好循環」は影をひそめ、むしろ「資産所得倍増計画」といった本質的にまっ

たく異なるビジョンが叫ばれるようにもなったのです。

このようななかで、私たちのゼミナールがたどり着いた政策理念は、「イノベーションと社会福祉の好循環」の実現です。われわれの生活を支えているのは、賃金だけではありません。夫婦共働き家計の総所得、医療・教育・介護などのベーシック・サービス、そして年金や生活保護などの総体です。私たちはこれらすべてを「社会福祉 (social welfare)」と呼びます。成長概念も再検討されるべきです。GDP の量的な成長だけでなく、適度な成長の内実として、新しい技術や産業の創造、自然環境との調和と持続可能な発展、社会の文化的発展、こららを「イノベーション (innovation)」と呼んでいます。いま、私たちのゼミナールが、研究と討論の結果たどりついたのは、このような広い意味での「イノベーション」と「社会福祉」の「好循環」という政策構想です。もちろん、このような社会経済政策の実現は容易なことではありません。信頼できる政府のもとで、社会保障制度だけでなく、雇用制度、教育制度、技術開発などに関する有効な改革と政策構想が必要となります。それらを、いままさに私たちのゼミナールでは学び続けています。

## 客員教員の異動について

神奈川学習センターでは、2023 年度末で 4 名の客員教員が退任され、この 4 月からは新たに 2 名の先生をお迎えします。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

### ●2024 年 3 月 31 日 退任

木村 昌彦 客員教授

(柔道、体育科学、体力科学)

富岡 幸一郎 客員教授

(近現代文学・哲学・思想、キリスト教神学)

白水 紀子 客員教授

(中国近現代文学、ジェンダー研究)

廣田 全男 客員教授

(地方自治論、憲法学)

### ●2024 年 4 月 1 日 着任



**君塚 直隆** 客員教授 / 関東学院大学 国際文化学部 比較文化学科教授

【専門】イギリス政治外交史、ヨーロッパ国際政治史

19 世紀には七つの海を支配し、20 世紀の二度の世界大戦で帝国は溶解したものの、21 世紀のこんにちでも国際政治で一定の存在感を示すイギリスの歴史をみなさんと一緒に見ていきます。



**高木 まさき** 客員教授 / 横浜国立大学 名誉教授、

公益財団法人教科書研究センター統括研究監

【専門】国語教育学

言うまでもなく、「国語」は私たち日本人の成長に大きな影響を与えています。国語は、国語科の学習はもちろんですが、国語科以外の学習、課外活動、日常生活、メディアとの接触など様々な場を通して、身につけられ高められていきます。この「国語」のもつ意味について、教科書、多様なメディア、社会環境などとの関係も踏まえながら考えてみたいと思います。

## 令和 5 年度横浜市大岡地区センターとの連携講演会の紹介

以下のとおり令和 5 年度に横浜市大岡地区センターとの連携公開講演会を実施いたしました。神奈川学習センターでは、今後も生涯学習に資する講演会等を実施していく予定です。

演題：美しい文字を書く

講師：青山 浩之

横浜国立大学教育学部 教授

日時：2023 年 11 月 12 日 (日)

13:30-15:30



演題：ウォーキングの実践と理論

講師：海老原 修 尚美学園大学 教授

日時：2024 年 3 月 2 日 (土)

13:30-15:30



相手にとって読みやすい文字の書き方や美しく見える文字の書き方を、「すき間均等法」などを使いながら解説いただきました。年賀状を書く時の参考になる、などとても好評でした。

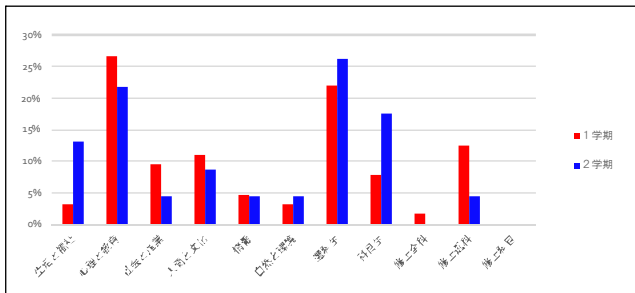
靴の左右のすり減り具合を見比べたり、実際に歩幅を計測したりしながら、歩行の科学について解説いただきました。10 人以上で協力しながら歩幅を計測するのは大変でもあり楽しそうでもありました。

## 2023年度の学生生活に関するアンケート K-サポート機関誌編集チーム

2023年度、4月と10月に、Zoom 利用で入学者の集いが開催され、参加した入学者の方に呼びかけ、google フォームを利用した学生生活に関するアンケートを行いました。1学期64名、2学期23名の方から回答が得ています。また、9月24日(日)には、2023年度1学期の学位記授与式が開催され、会場にてアンケート用紙を配布回収しました。32名の方から回答がありました。

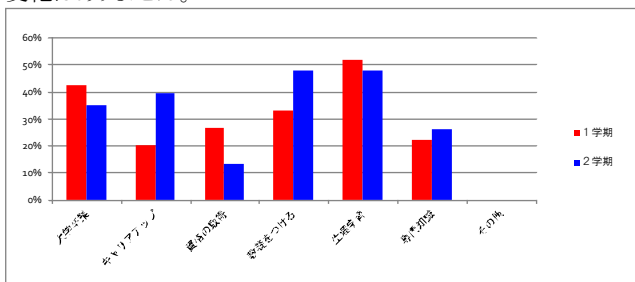
【入学者アンケート】はじめに、入学者向けアンケートを、4月と10月を比較しながら紹介します。

最初の項目は、入学者の学生の種類。1学期に比べ2学期は、科目生、選科生の比率が高い傾向が見られます。

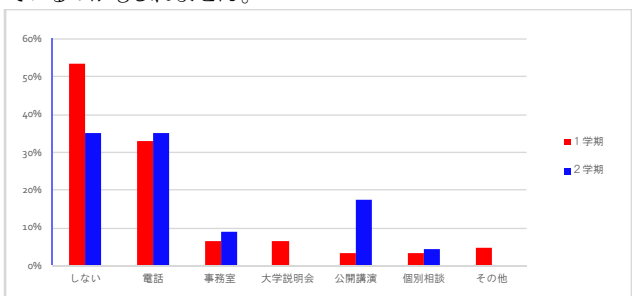


年齢構成(グラフの掲載省略)は、1学期は40～50代をピークにした。昨年度同様の傾向、2学期は、20代と50代が多く30代と60代が少ないですが、参加者が少なく、実際の入学者の傾向と異なるかも知れません。ただ、若年層高齢層で分けると、前学期、前年度の年代別傾向といえます。今年度も、コロナ禍前の年代別傾向と類似していて、コロナ禍を経てリモート開催の入学者の集いとなっても、結局は年齢構成には大きな変化は起こらなかったと思われます。

入学動機です。2学期の方が、選科生、科目生の割合が多いためか、若干キャリアアップの傾向が強いようにも見えます。全体傾向として、生涯学習、教養、卒業・・・という傾向に変化はありません。

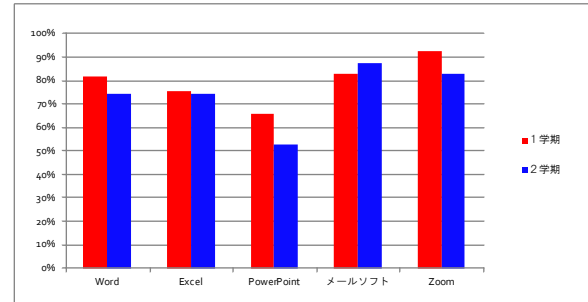


入学前に、相談問い合わせをしたか?については、コロナ禍になってから、しなかったという方がとても多くなってきましたが、2学期は、しなかったという回答は、大きく減りました。コロナ禍の規制が小さくなり、相談しやすい環境になっているのかもしれませんが。



放送大学について理解できていないことの項目(グラフの掲載なし)については、1学期は、入学前によく調べて理解していると思われる方が多い結果になりました。2学期は1学期にくらべて初歩的なところで悩んでいる回答が多くなっています。

パソコンの習熟度についての項目です。パワーポイントはもとより、他のアプリケーションについても、習熟度が下がっているようにみえます。この選択肢を設けてから初めての傾向となりました。また、Zoomの習熟度は80%。何人かの方が、苦心ながら入学者の集いに参加しているようです。

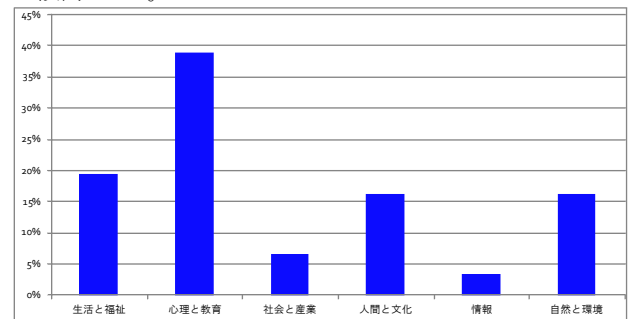


### 《自由記入欄》※

- ・説明等が丁寧でわかりやすかった。よく理解できた(11名)
  - ・先生方のお話が聞いて良かった。講義など受けてみたい(5名)
  - ・オリエンテーション等参考になった(3名)
  - ・入学した実感がわいた、励みになった(8名)
  - ・今の気持ちを忘れず、勉学に励みたい(2名)
  - ・学習センターへ行きたくなった(2名)
  - ・サークル活動に興味を持った。可能ならば参加したい。(参加したいけれどできない含む)(6名)
  - ・ゼミに興味を持った(3名)
  - ・K-サポートなどがあることを知り、心強くなった(4名)
  - ・配信トラブル、接続できない、学習センターでの実施希望など(5名)
  - ・オンライン映像等への要望(3名)
  - ・Zoomで参加できてよかった(3名)
  - ・学習センターや放送大学への要望・質問(4名)
- ※1学期、2学期あわせて記載。類似のもの含めて2名以上から同様の回答があったもののみ。( )内は回答人数。

【卒業生アンケート】次に、2023年9月の学位記授与式にて行われたアンケートです。

コース別では、心理と教育が多く社会と産業、情報が少ない傾向でした。

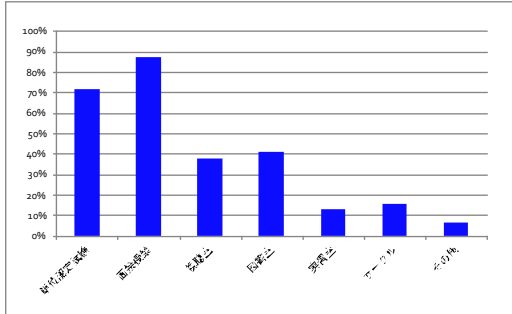


続いて年齢構成。50代に極端なピークがあつて、高齢の方はいずれの世代もある程度卒業生がありますが、逆に、20代など若年層が極端に少ない結果となりました。ここ数年、20代、30代の卒業生は、とても少ない状況になっています。コロナ禍になってから4年経過して、コロナ禍中に入学された方が卒業し始める時期(3年次編入の方は、入学後2年経過後は、卒業の可能性がある)に差し掛かってきましたが、この世代に多くの入学者があつたにもかかわらず、神奈川の卒業

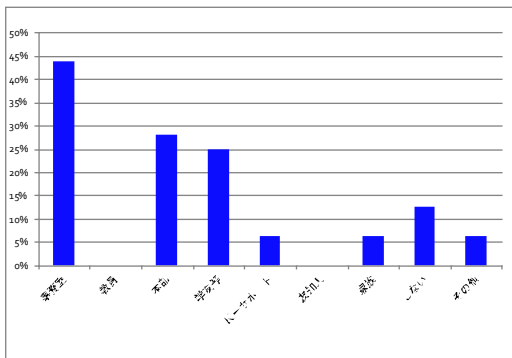
生は、低調な状況である可能性があります。

入学した動機(グラフの掲載なし)は、教養、卒業、生涯学習をあげる方が多く、前年に比べて卒業をあげる割合が増えて、50%ほどになりました。

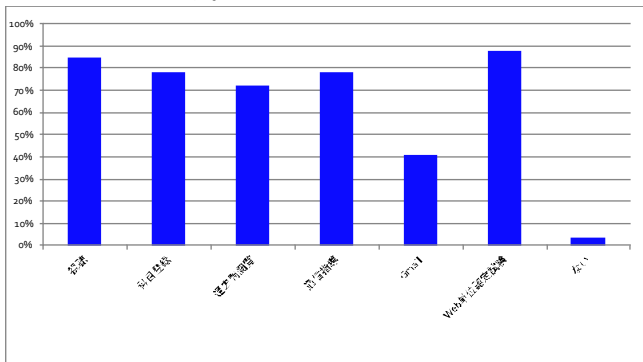
学習センターの利用については、単位認定試験が、Web 中心になり、単位認定試験をあげる方は、70%にまで減少してきました。それに比べて視聴室の利用等は、微減にとどまり、コロナ禍が明けて、最近の入学者にも利用される方が、いらっしゃるのかもしれない。



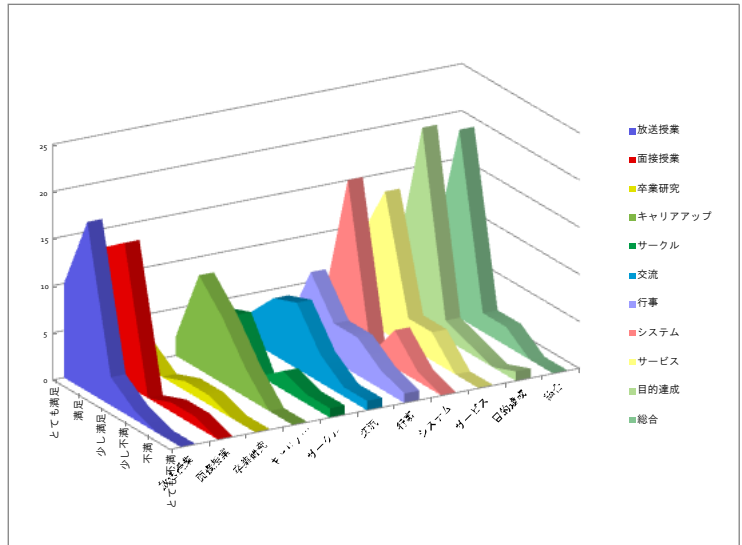
放送大学で困ったときの相談先です。事務室や本部(電話)、学友に相談という方が増加して、相談しないという方が減っている傾向です。コロナ禍明けて相談しやすくなってきたように考えられます。



システム WAKABA 等の利用状況です。Web 単位認定試験の割合が90%近くなり、この選択項目のトップ。学習センターでの受験が70%だったことと比較して、時の流れを感じます。システム WAKABA については、まんべんなく利用していることがわかります。



学生生活の満足度の項目です。昨年同様、不満を訴える回答もありました。特徴的なのは、面接授業の満足度が増加したこと。これは、面接授業がコロナ禍前の状況に戻りつつあることが大きな理由の一つと考えられます。一方で、行事、サークル、交流については、改善傾向は見られず。学生生活の充実には、このような活動が、どこまでコロナ禍前の状況に戻ってくるか重要になってくると思われれます。



《放送授業》(2名以上回答のあった科目)  
 死生学 3名  
 (死生学のフィールド 死生学入門を含む)  
 基礎看護学 2名  
 歴史と人間 2名

《面接授業》(2名以上回答のあった科目)  
 心理学実験 6名  
 (心理学実験 1. 2. 3を含む)

《自由記入欄》(具体的内容が記載があった解答の要旨)  
 ・77歳の時に入学し続けられるか心配でしたが、8年かけて卒業できました。  
 ・コロナ禍で、対面で話せないことが不安でしたが、学習センターに相談した時とても丁寧に説明して下さったのが印象に残っている。  
 ・みなさん、興味があったら、卒業研究、修士論文に挑戦してください。  
 ・卒業できてうれしい。コロナ禍を利用しての入学でしたが、学生同士の交流がなく残念。事務の方の配慮には感謝。  
 ・病気のため卒業に時間がかかったが、家族の励ましがあり卒業できた。様々な分野の学習は良い経験になった。  
 ・病気や仕事の多忙で、10年かけての卒業だった。ゆっくりでも前に進もうと決めて歩いた。今後の人生を後押ししてくれると信じている。  
 ・他大学の通信制で知り合った友人が、放送大学卒業の志半ばで亡くなった。その方の分も学びをつけようと思って入学した。卒業しても学びを続けます。研修旅行の復活を希望します。  
 ・面接授業が希望通り取れず再入学します。  
 ・(神奈川の)面接授業が抽選に漏れて、なかなか卒業できなかった。コロナ禍で学生同士の交流がほとんどできず残念。科目生で学びを続けたい。  
 ・他の地方で開講された面接授業に参加したときは感動しました。  
 ・7つめのコースを作ってほしい。



## 令和6年度 神奈川学習センター開講ゼミ一覧

神奈川学習センターのゼミは、所長、客員教員が主催する勉強会です。自由な雰囲気、先生からの指導、学生相互の意見交換、親睦を深めることができます。

ゼミへの参加を希望される方は、神奈川学習センターウェブサイトのトップページに掲載の「神奈川学習センター実施のゼミのご案内」のリンク先から、注意事項を確認のうえ申請を行ってください。

### ●神奈川学習センター客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日
飯田 深雪	英語ゼミ（英文講読－英米文学を通して考える「異文化との出会い」）	日系アメリカ文学（『Desert Exile』 by Yoshiko Uchida を教材とし、遠隔で英文理解、内容の鑑賞、ディスカッションなどを行う。	毎月第2土曜日
植村 博恭	グローバル時代の社会と経済政策：生活者の視点から考える	本ゼミナールは、グローバル時代の社会と経済政策のあり方について学びます。特に、様々な身近な問題を毎日働き暮らしている生活者の視点で考えていきたいと思えます。日本企業における働き方の改革、男女平等社会の実現、退職後の安心できる暮らし、個人資産の有効な管理と運用などを取り上げつつ、私たちひとりひとりの生活を支えてくれる経済政策のあり方はどのようなものか、勉強していきます。特に、若者、中堅世代、高齢者、女性、男性といった様々な世代の市民の観点からゼミを進めていきたいと考えています。	毎月2回金曜日 (Zoom及び対面)
大谷 英雄	リスクを考える	現代はリスク社会と言われ新型コロナ感染のリスクや南海トラフ巨大地震のリスクなどがマスコミでも取り上げられることが多いが、一方でリスクはあるかないかを議論するものではなくて大きい小さいかが議論されるべきものであるのに、そのあたりの議論は進んでいない。このゼミではリスクの捉え方や伝え方などについて議論していきたい。	毎月第3火曜日 学生との調整により変更もあり
大矢 勝	洗浄科学ゼミ	洗浄を通して科学的な態度を楽しむ姿勢を身に付けることを目的として、毎回洗浄に関する別のテーマを設定し、それぞれの有効な洗浄方法とその仕組みについて考えていきます。 ※開講期間 2024年10月1日～2025年1月16日	毎月第2木曜日
間嶋隆一	地質学・古生物学ゼミ	神奈川県下の地層と化石を対象に、野外見学を中心に学習します。センター講義室で隔月程度の間隔で開催するゼミ（14:00から17:00）と不定期6回程度開催する野外での地層見学（10:00から17:00）を実施します。	最初のゼミ日に日程調整します

### ●元客員教員開講ゼミ

教員名	ゼミ名	活動内容	開催予定日
上川 孝夫	上川ゼミナール	経済学や経済史、国際金融を中心に、文献を輪読し、討論を行います。また必要に応じて、ゼミ生による研究報告会を実施します。	毎月第3土曜日
高橋 邦年	英語基礎ゼミナール	毎回2.5時間（休憩10分）の活動を行う。平易な英語教科書を選び、必要に応じて講師が内容について説明・解説をし、それを受けて学生が演習を行なう。進度はあらかじめ定めず、無理なく進める。 現在、新規のゼミ生の募集は行っていません。	基本的に毎月第2土曜日あるいは第3土曜日



## 地域連携ウォーキング 「秋の日に丘を越えて絶景を楽しもう」

2023年11月4日に第14回の地域連携ウォーキングが開催されました。大谷所長と一般参加者、スタッフ合わせて27名が参加し秋空の下、歴史、文化、自然などのガイドを聞きながら、ウォーキングを楽しみました。(K-サポート事務局)

### 「ウォーキングに参加した感想」

ウォーキング当日は11月にしては暑いくらいの陽気の日でした。

ちらしにあった「秋の日に丘を越えて絶景を楽しもう」のうたい文句に誘われて、放送大学の敷地に足を踏み入れました。

参加者全員で準備体操して、いよいよ全長6キロ見学ポイント11か所のコースがスタート。

最初のポイントは放送大学のお向かいにある大岡健康プラザ



でした。建て替えられる前の写真などを拝見しながら説明を受け、どんどんタイムスリップして大正時代に行くような感覚を味わいながら、急こう配の階段を皆で励ましあっていたのぼりました。階段を上った先にあった絶景は「頑張った先にかいがある」と思わせてくれる景色でした。シダやマンションの垣根にあったヤマボウシなど多彩な話題に触れながら、たくさんのお見学のポイントについて教えていただきました。

三殿台遺跡では竪穴式住居を見学させていただき貴重な体験となりましたし、岡村天満宮、岡村公園ははからずもゆずの聖地巡礼となり、ファンならずともなかなか興奮する時間でした。

「人に歴史あり」と言いますが、まさに「土地に歴史あり」。

土地や建物に先人たちの想いがあり、今を生きる私たちに繋がる歩みがあるのだと実感するウォーキングコースでした。

(一般参加の持田さんからの寄稿)



## K-サポートからのお知らせ

### K-サポート発表会

2月17日午後第3講義室の対面とZoom利用のハイブリッドにより2023年度のK-サポート発表会を開催しました。参加者は、大谷所長、中ノ園総務係長、渡邊教務係長、および、学生サポーター8名(内1名はZoom利用)。

5チーム(学習相談、機関紙編集、地域連携、バス研修、パソコンサポート)による2023年度の活動報告と2024年度の活動計画発表を行いました。

(K-サポート事務局)



### 学習相談チーム

学習相談チームは、先輩学生の立場で学習相談会を開催しています。相談は放送大学での学習のことに、限らせていただきますが、まずは、気軽にご相談ください。

日時と会場は、4月13日(土)6月8日(土)の13:05~15:50。神奈川学習センター談話室で開催します(予約不要)

また、4月27日(土)に開催される「所長による勉強の仕方講演会」の終了後の学習相談にも協力しています(「所長の勉強の仕方講演会」参加者対象)。

(学習相談チーム)

### パソコンサポートチーム

放送大学生として必須となる、システム WAKABA の利用方法、Word・Excel 操作、チャットAI活用等を支援します。

受講は無料ですが、定員が先着順12名のため申込が必要です。申込用紙はパンフレットと一緒に学習センター1階ホールに備えてありますので記入して、横の専用投函箱に入れてください。

受講には、ノートパソコンかタブレット持参が必須となります。お持ちでない方には機種選定等のアドバイスをいたします。初心者塾の開講は学習センター実習室で4月28日、5月12日、26日、6月8日、8月18日、24日です。時間は原則13:00~15:30です。参加回数に制限はありません。1回のみ、複数回の参加も可能です。受講生として、またサポーターとしてのご参加をお待ちしております。

(パソコンサポートチームリーダー鈴木康年)

## 学生サークルからのお知らせ

※サークルの活動内容や加入等に関するお問い合わせは、下記の各サークルの連絡先にお問い合わせください。神奈川学習センターではお答えすることができません。

### ○神奈川放友会

◆1985年神奈川学習センター開設と同時に創立。「共に学び、人間的交流を深め、奉仕によって社会とつながる」ことを理念として、現在110余名の会員が、学内・学外活動に積極的に参加しています。

◆2024年度1学期行事予定

4月 チャリティウォーキング 鎌倉広町緑地  
5月 春季例会(講演)「体験的 北極と南極」  
6月 春の学外活動「能楽鑑賞教室」国立能楽堂  
8月 夏季例会(ワークショップ) 染織教室

◆詳細は、HP;<https://kanagawa-hoyukai.jp>にて  
◆問合せは 1510438199@campus.ouj.ac.jp 兼田へ

### ○韓国語同好会

★目的 韓国語の日常会話を習得し、韓国放送通信大学日本学科との日韓文化交流を通して日韓相互の生活、歴史、文化への学びを深めることを目的としています

★定例会 2回/月

①第1土曜日 10:00～11:45 大岡地区センター  
②第3土曜日 10:00～12:00 Zoom(リモート)  
授業&親睦会(国際交流を目的に会員以外の有志参加可)

★レク活動 近郊の関連地散策、日韓交流会等興味をもたれた方、是非お仲間！

★問い合わせ サークル協議会ホームページ(村田)  
<https://kcc-ouj.net/dantai/hanguo/index.html>

### ○放大かながわレク・サークル

★サークル活動:放送大学生との「仲間作り」とウォーキング等の「健康づくり」

★例会:2ヶ月に1回(含、映画鑑賞会)

★ウォーキング:2ヶ月に1回、「鎌倉街道」実施中。名所旧跡文化施設等も対象。

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。上記の各種活動はいずれも自由参加。  
—会員募集中(随時申込・受付)—

★問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384  
E-mail bunsima829@gmail.com

### ○人間学研究会

★「目的:人間の本質的・実質的なあり方について、多面的視野から学習。会員の交流と親睦を図る」  
会員 59名(男性 35 女性 24)

\*月例会:卒業研究・旅行経験発表・茶話会・外部講師講演

大岡地区センター 中会議室 12:30

4月13日 コロナ明け後に訪問した国々

5月11日 天保時代生まれの先祖名義の遺産の相続活動

★会誌:せせらぎ 34号発行

★ウォーキング :随時

★お問い合わせ:片野賢治

[mt.dream@jcom.home.ne.jp](mailto:mt.dream@jcom.home.ne.jp)

### ○うえるかむ Kanagawa

私達は英語を楽しみながら学んでいるサークルです。

\*例会は原則、毎月第2、第4水曜日。現在、Zoomを利用したオンライン開催(上級は学習センターにて対面)

\*外国人講師の英会話レッスン(10:00～11:30)  
(参加費有料、初中級・上級の2クラスに分かれ、各45分)

\*Group Study(13:30～15:30)

(入門・中級・上級の3クラスに分かれ学生同士で学ぶ)

\*スクラブルデイ:第2金曜日1時半より対面

\*年会費:現在は無料(通常は年1,000円)

\*ホームページ

<https://welcome-kanagawa.jimdofree.com>

\*問い合わせ

金子 響(e-mail:kaneko-toyomu@outlook.jp)

### ○資格取得研究会

看護・福祉分野(心理や教育系も含む)のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。目標の資格は、正看護師、看護学士、認定心理士など。例会は、現在不定期で、原則土日曜に開催。情報交換が中心。オンライン例会計画中。

★会費:¥500(1年間)

★ホームページ… <http://shikaku.yumesora.net>

★お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

## ○ダンスサークル（社交ダンス）

ダンスはスポーツ！人生 100 年時代に向けて健康増進、素敵な姿勢、ストレス解消に是非一緒に踊りましょう。コロナ前には 20 名でしたが現在は 8 名、優秀なインストラクターの元で毎回楽しくレッスンに励んでいます。

未経験者大歓迎です！ 先ずはお気軽に見学にお出下さい。

★神奈川学習センター第 7 講義室

★毎月 2 回、原則第 2 と第 4 火曜 13:30～15:30

★会費 1500 円/月、年会費 1000 円 ★ダンスパーティーで踊れるレベルへ練習(モダン、ラテン)

★連絡先 中村健 tarumakan0904n@gmail.com

## ○スペイン語研究会

★目的:西語日常会話習得と西語圏歴史・文化を学ぶ。

★活動:月 2 回(第 1・第 3 金曜日)。

★会費:初級 月 1,000 円 中級 月 2,000 円

★内容:ペルー人女性講師による日常会話習得、

日常会話学習後における会員相互の学習会

会員・ゲストスピーカーによる西語圏研究発表・講演。

★入会申込み: <https://cdek.yokohama/>

★連絡先:会長・中田博久

E-mail: [cdek-yakuin@googlegroupes.com](mailto:cdek-yakuin@googlegroupes.com)

## ○中国語学習会

中国語でチョット挨拶ができればなあとか、前から中国文化に興味あったけどという方。ニーハオ！中国語学習会です。中国人の先生と和気あいあい、一生懸命勉強しています。初めてでも、昔勉強した人も、大歓迎です。一緒に学ぶ仲間がいるのは心強いですね。第 2・4 日曜日の午前と午後、学習センターで、ぜひあなたも一緒に。

詳細は、下記までお問合わせください。

[elcondor@ra2.so-net.ne.jp](mailto:elcondor@ra2.so-net.ne.jp):近藤または、

[tomomama4213@docomo.ne.jp](mailto:tomomama4213@docomo.ne.jp):細矢まで。

## ○神奈川合唱団

★合唱未経験者歓迎

★合唱を愛好する皆さんと一緒に音楽を通して学生生活をエンジョイするサークルです。現在 30 有余名の学生が合唱を楽しんでいます。

★2022 年度は、港南ラウンジ祭り(ひまわりの郷)で <贈る言葉> <竹田の子守唄>を

歌いました。

★指導は、発声・歌唱を清水一成先生(プロのオペラ歌手)

ピアノ伴奏を村上千絵先生のご指導で練習に励んでおります。

☆場所:大岡地区センター 音楽室 2 階

(放送大学神奈川 SC の斜め前のビル)

☆練習日:毎月 第 2・4 水曜日

18:30～20:30

☆連絡先:nobukishi0429@gmail.com

## ○歩・歩の会（地球研）

目的:地球科学ゼミ(有馬ゼミ)を発展的解消し、結成されたサークルです。地球科学をベースに自然を学び「人新世(Anthropocene)」における地球環境危機について考えています。

活動:毎月一回程度

24 年観察場所:秩父 Geo、三浦半島、忍野八海、生田緑地、大磯丘陵、日立の地層、箱根カルデラ、銚子 Geo などの行脚。

☆ご興味のある方はご連絡ください。

(代表:吉岡・中澤)

e-mail [earth.hoho.kanagawa@gmail.com](mailto:earth.hoho.kanagawa@gmail.com)

## 神奈川同窓会だより

【第 15 回ミニサロンのご案内】

神奈川同窓会では、下記の通り、Zoom 利用のオンラインにて行事を開催します。

記

日時:2024 年 4 月 27 日(土)10:00～12:00

演題:四国お遍路道中記

講師:吉岡 淳さん(同窓会会員)

Zoom 利用によるオンライン開催

お問い合わせは、[info@hatoh.net](mailto:info@hatoh.net) まで

### OUJ 神奈川学習センターだより編集部

家田、伊藤、入江、遠田、笠井、吉川、木下、  
筈崎、三国(以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

中ノ園(学習センター事務室)

# 神奈川学習センターからのお知らせ

## 第1学期通信指導について（学生生活の葉を熟読のこと）

- ≪Web 提出≫ 2024年5月8日（水）10:00 ～ 5月29日（水）17:00 まで  
≪郵送提出≫ 2024年5月15日（水） ～ 5月29日（水） 放送大学本部必着  
〈添削結果返送時期〉 2024年6月末～7月上旬

以下の期限までに添削結果が届かない場合は、**放送大学本部**まで連絡してください。

- ① 択一式科目（併用式科目の択一部分）： 2024年7月8日（月）  
② 記述式科目（併用式科目の記述部分）： 2024年7月11日（木）

○通信指導は、放送授業科目の単位認定試験を受験するための中間課題です。

○未提出及び期限外に到達した場合は**単位認定試験を受験できません**。

○問題は原則印刷教材とともに送付されます（再履修等の場合は別途郵送されます）。

5月8日（水）までに届かない場合は、**放送大学本部**に連絡してください。

## 第1学期単位認定試験について（学生生活の葉を熟読のこと）

単位認定試験は、Web 受験方式により実施します（郵送受験方式の科目を除く）。自宅からインターネットを通じてWeb 単位認定試験システムにアクセスして受験します。試験期間中いつでも受験可能ですが、**1科目50分**の制限時間があり、**各科目1回のみ**受験可能です。

### <第1学期単位認定試験期間>

実施方法	出題形式	試験日程（郵送試験は提出期間）
Web 試験	択一式科目	7月14日（日）9:00～7月22日（月）17:00
	記述式・併用式科目	7月14日（日）9:00～7月18日（木）24:00
郵送試験	すべての出題形式	7月14日（日）～7月18日（木）≪必着≫

### 自宅等でのWeb 受験が困難な場合について

自宅等にインターネット環境がない、またはパソコン・スマートフォン・タブレット等電子機器の操作が困難等の事情により、自宅等でのWeb 受験が困難な場合、学習センターでの受験を申請することができます。なお、学習センターでの受験であっても基本的なパソコン操作が必要です。また、学習センターで開催する「操作体験会」への参加が必要です。

申請方法は以下の通りです。詳細については学生生活の葉を確認して下さい。

#### <申請方法>

- i) システム WAKABA で変更手続き  
「教務情報→変更・移動手続→単位認定試験受験場所変更」  
ii) 単位認定試験受験場所変更願（学生生活の葉 巻末様式）を郵送提出

#### <受付期間> ※郵送提出の場合は期限内必着

- 第1学期の単位認定試験から変更する場合  
4月1日（月）～5月24日（金）  
○第2学期の科目登録から変更する場合  
7月23日（火）～8月6日（火）